

NIDDF 2017

新潟国際ダンスフェスティバル 2017

アーティストックディレクター

金森 穰 [新潟市文化創造アドバイザー]

メイン会場

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館



※この公演は、東京2020応援文化オリンピックの認証事業です

NIDF2017—新潟インターナショナルダンスフェスティバルとは

「東アジア文化都市2015新潟市」事業の一環として、同年新潟で初めての国際ダンスフェスティバル「NIDF2015」が開催されました。今秋、第2回となる「NIDF2017」を、前回と同様、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館で開催します。アーティストックディレクターは、りゅーとぴあのレジデンシャルダンスカンパニー Noismの芸術監督である金森穰（演出振付家）が務めます。

アジアの舞踊芸術を牽引する舞踊団が新潟市に

2015年に来日した韓国・大邱市と中国・香港特別行政区にシンガポールを加え、3カ国から同時代の作品創造を担うプロフェッショナルカンパニーとして創設された舞踊団を新潟市に招へいします。広くアジアとの国際文化交流を展望する充実したフェスティバルとなります。

招へい予定舞踊団:大邱市立舞踊団(韓国・大邱)、城市当代舞踊団(中国・香港)、T.H.E ダンスカンパニー(シンガポール)

新潟市からアジアへ。アジアの文化創造交流都市・新潟市の形成に向けて

新潟市は本州日本海側で唯一の政令指定都市であり、最大の拠点都市です。その中心的な文化施設であるりゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館での舞踊作品上演や国際シンポジウムに加えて、ワークショップを開催することで国内外から集まる若手ダンサー、そして市民が交流する機会となり、新潟市が北東アジアの文化交流拠点をめざす第一歩となります。

※東アジア文化都市：日中韓文化大臣会合での合意に基づいて、日中韓3カ国で文化芸術による発展をめざす都市を選定し、様々な文化芸術イベントなどを実施するものです。これにより東アジアの相互理解を深めるとともに、多様な文化の国際発信力を高めます。日本国内では2014年の横浜市に続き、2015年に新潟市が開催都市に選定されました。以降、2016年に奈良市、2017年に京都市が選定されています。

※NIDF：Niigata International Dance Festivalの頭文字を取って付けられた名称です。

ディレクターメッセージ

この度、二回目の新潟インターナショナル・ダンス・フェスティバル、NIDF2017「世界から新潟へ—アジアの現在に出会う」が開催されることを嬉しく思います。

今回は、第一回(NIDF2015)に来日・公演した韓国と中国に加え、シンガポールからも舞踊団が来日し、新潟市民芸術文化会館を舞台に、公演及びワークショップを実施します。さらに、新潟が世界に誇るりゅーとぴあ専属舞踊団 Noismが加わることで、この秋、現代アジアを代表する4つの劇場専属舞踊団が新潟に集います。

新潟は元来、世界へ開かれた国際都市でした。江戸時代には海から、昭和に入ると空から、多くの人、物、文化が集まり、世界へと発信されていました。しかし平成の今、その事実を知り、「国際都市」のイメージを持つ人がどれほどいるでしょうか。

本フェスティバルを通して、新潟の地が、さらに豊かな国際性を育む一助となること、そしてそのことが、新潟市民のみなさまの誇りとなることを、心から願っています。

アーティストック・ディレクター
金森穰

公演情報

9月29日[金] 開演 19:00 (途中休憩あり)

【大邱・韓国】

てくしりつぶようだん
大邱市立舞踊団 (DCDC)

Daegu Contemporary Dance Company

『Mosaic』『Bolero』

振付：ホン・スンヨプ Sung Yop Hong



photo: Lee Gyeongyun

『Mosaic』『Bolero』の2作品を上演。『Mosaic』は、これまでのホン・スンヨプ振付の代表作から名場面を抜粋したレパートリー作品。綿密に計算され、そぎ落とされたムーブメントの連続は彼の作品の醍醐味と言える。『Bolero』は、朝鮮戦争を背景に、日本人の妻や家族と別れたまま、孤独に死を迎えた実在の天才画家イ・ジュンソプの人生と作品世界が、2名の女性ダンサーによって表された作品。

10月8日[日] 開演 15:00 (休憩なし)

【シンガポール】

T.H.E ダンスカンパニー (T.H.E)

The Human Expression Dance Company

『As It Fades』

振付：クイック・スイ・ブン Swee Boon Kuik



photo: T.H.E Dance Company & Bernie Ng

「忘れずにいたい」というテーマの本作品は、振付家クイック・スイ・ブンによる日常から消えゆくアジアの伝統文化へのオマージュであり、伝統文化と現代人の関係性が映し出されている。海南語と中国標準語の民族音楽を軸に、社会や個人を巡る文化、伝統、環境についてのパーソナルな、あるいは集団としての記憶を喚起する。忘れ去られ、私たちの身体の奥底に葬り去られた言葉が捉えられ、作品として具現化される。

10月15日[日] 開演 17:30 (休憩なし)

【香港・中国】

じょうしとうだいぶようだん
城市当代舞踊団 (CCDC)

City Contemporary Dance Company

『Amidst the Wind』

振付：ウィリー・ツァオ Willy Tsao ほか



photo: Conrad Dy-Liacco

芸術監督でもあるウィリー・ツァオによって選び抜かれたCCDCの過去の上演作品のうち、9作品の抜粋部分から構成される公演。ウィリー・ツァオ自身の作品のほか、ヘレン・ライ、サン・ジジアといった香港の著名な振付家に加え、振付界の新星ノエル・ポンやドミニク・ウォンらの近作が盛り込まれている。ソロから14名の群舞まで、多様な方向性の作品を一度に網羅する本作にはCCDCの本質が凝縮されている。

公演助成：香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部

公演情報

12月15日[金] 開演 19:00
12月16日[土] 開演 17:00
12月17日[日] 開演 15:00 (休憩なし)

【新潟・日本】

Noism1

りゅーとびあ専属舞踊団ノイズム

『NINA—物質化する生け贄』

演出振付：金森 穰

2005年の初演以来、8カ国18都市で上演してきた金森穰演出振付のNoism初期代表作。2017年秋に衣裳を一新し、東アジアツアーを経た“新生NINA”、7年ぶりの新潟凱旋。舞台における身体とは、どのような“状態”であるべきか。身体そのものの「普遍的な強度」を追求する中で生まれた作品。極度の集中により舞踊家の身体から放たれるエネルギーが、舞台という非日常の空間に立ち現れる。人で在ってものとなる、人を問うために。そして舞踊家は、物質化することを受け入れた、誇り高き生け贄となる。



photo: Kishin Shirayama

国際シンポジウム

国際シンポジウム『アジアにおける劇場文化の未来』

12月17日[日] Noism 1 公演終了後

各舞踊団の芸術監督4名がそろい、新潟市での舞踊作品上演を踏まえ、劇場専属舞踊団の抱える課題や、それぞれの国での舞踊活動の現状について話し合うシンポジウム。各国の舞踊団の特色や昨今の事情を踏まえて意見交換を行い、「アジアにおける劇場文化の課題と未来」そして「国際社会におけるアジアの文化の役割」についての考える機会とします。
(日本語への逐次通訳あり)

ワークショップ

9月27日[水] 19:00 ~ 20:30
講師：ホン・スンヨプ(DCDC)
10月9日[月・祝] 11:00 ~ 12:30
講師：クイック・スイ・ブン(T.H.E)
10月16日[月] 19:00 ~ 20:30
講師：ウィリー・ツァオ(CCDC)

海外から参加する3舞踊団を率いる振付家による、舞踊家と舞踊を学ぶ方々を対象としたワークショップを開催します。



大邱市立舞踊団

1981年、韓国で初めての公立現代舞踊団として設立。2014年11月に6代目の芸術監督として振付家ホン・スンヨプを迎え、現在45名の団員とともに質の高いダンスで韓国と大邱市の現代舞踊の発展に寄与している。2015年のNIDFではホン・スンヨプが国際的評価を受けるきっかけとなった『Moon-Looking Dog』と芸術監督就任後初の振付作品を再構成した『I Saw the Elephant』を上演した。(当時の舞踊団名はDCDMC(Daegu City Modern Dance Company))



photo: Lee Gyeongyun

【大邱市立舞踊団芸術監督・振付家】

ホン・スンヨプ Sung Yop Hong

1982年、慶熙大学繊維工学学科在学時にモダンダンスを始める。84年には第14回東亜舞踊コンクール大賞を受賞。93年に韓国初のインディペンデントなダンスカンパニー“Dance Theater On”を設立し、韓国の現代舞踊界に新たな展望を切り拓いた。99年ソウル国際舞踊祭・振付賞、01年韓仏文化賞を受賞。03年、05年のベストモダンダンサー(東亜日報)に選ばれる。10 - 13年韓国国立現代舞踊団の初代芸術監督。近年ではダンスカンパニー“tanzcompagnie oldenburg”のゲスト振付家として作品を発表するなど、国内外で活躍の幅を広げている。



photo: Choo Myeongyu

T.H.Eダンスカンパニー

T.H.Eダンスカンパニー(ザ・ヒューマン・エクスプレッション・ダンスカンパニー)は卓越した芸術性と圧倒的な技術を誇る革新的な舞踊団。2008年の創設以来、主要な各地の国際芸術祭で上演してきたほか、地域のダンサー育成プラットフォームとしてコンテンポラリーダンスフェスティバル「CONTACT」を2010年に立ち上げる。NIDFには今回が初の参加となる。2014年よりメンバーの一人として、元Noism1の後田恵が在籍している。



T.H.E Dance Company & Bernie Ng

【T.H.Eダンスカンパニー芸術監督・振付家】

クィック・スイ・ブン Swee Boon Kuik

2002年～07年スペイン国立ダンスカンパニー初の東洋人男性プリンシパルダンサーを務め、ナチョ・ドゥアト、イリ・キリアン、マッツ・エック、オハッド・ナハリン、ヴィム・ヴァンデケイビュスなど著名振付家の作品を踊る。03年にはブノワ賞にノミネートされ、07年にはシンガポールのナショナル・アーツカウンシルからヤング・アーティスト賞を受賞。翌年T.H.Eダンスカンパニーを創設。振付作品は高い評価を得ており、『abeve40』(15年)アヴィニヨン冬季フェスティバルのクロージング作品に選ばれるなど、国際的な評価も高い。



photo: Ringo Chan

城市当代舞蹈团

ウィリー・ツァオによって1979年に設立。多様性と活気にあふれる香港の現代カルチャーが持つ勢いと創造性の代名詞として知られ、国内外で多くの公演を行っている。創立以来、海外や他分野のアーティストの画期的なコラボレーションを積極的に行っており、オリジナル作品数は200作を超える。前回のNIDF2015では、ザ・フォーサイズ・カンパニーでダンサー、振付家として活動してきたサン・ジリア振付『As If To Nothing』を上演した。

カンパニー助成：中華人民共和国 香港特別行政区政府

【城市当代舞蹈团芸術監督】

ウィリー・ツァオ Willy Tsao

1979年に城市当代舞蹈団を設立し、89年から芸術監督を務める。中国の三大ダンスカンパニーであるCCDC、広東モダンダンスカンパニー、北京雷動天下現代舞団を率いる、中国でもっとも多作な振付家。哲学からチャイニーズロックまで中国文化全般から着想を得て制作される作品は国内外で上演され、コンテンポラリーダンスの発展に多大な貢献をしている。15年中国舞踊家協会の理事、16年に広東省舞踊家協会の副会長に就任。中国のモダンダンスの発展に寄与している。



photo : Lee Gyeongyun



Noism

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の劇場専属舞踊団。演出振付家・舞踊家の金森穰がりゅーとぴあ舞踊部門芸術監督に就任したことにより2004年に設立。プロフェッショナルカンパニー Noism1と研修生カンパニー Nosim2の2つの集団がある。新潟を拠点に、Noism1は国内外で作品を上演、Noism2は県内のイベントにも出演する等地域に根差した活動を行う。新潟から世界を見据えた活動は、21世紀の新たな劇場文化モデルとして注目を集めている。NIDF2015ではNoismのプロジェクトカンパニー Noism0が新作『愛と精霊の家』を上演。

【Noism 芸術監督】

金森 穰 Jo Kanamori

演出振付家、舞踊家。りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督、Noism 芸術監督。17歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。NDT2在籍中に20歳で演出振付家デビュー。10年間欧州の舞踊団で活躍後、帰国。2004年、日本初の劇場専属舞踊団Noismを立ち上げる。14年より新潟市文化創造アドバイザー。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。

www.jokanamori.com

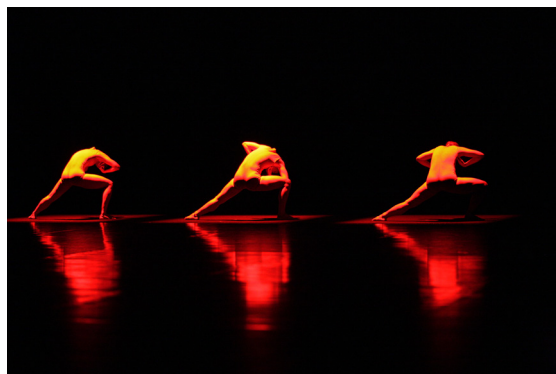


photo : Kishin Shirovama



photo : Kishin Shirovama

料金(全席指定)

■単券

▶大邱市立舞踊団

T.H.E ダンスカンパニー

城市当代舞踊団:

一般 4,000円 / U25* 3,200円

▶Noism1:

S席 一般 4,000円 / U25* 3,200円

A席 一般 3,000円 / U25* 2,400円

*25歳以下(入場時に身分証明書をご提示ください)

■セット券

2演目以上のチケットを同時にご購入の方は、

1枚あたり20%割引となります。

※限定50組での販売となります。※セット券はN-PACmate割引との併用はできません。

発売日

7月26日[水] 【N-PAC mate 会員先行】

▶大邱市立舞踊団

T.H.E ダンスカンパニー

城市当代舞踊団の単券

▶(Noism含む) 2演目以上のセット券

7月27日[木] 【一般発売】

▶大邱市立舞踊団

T.H.E ダンスカンパニー

城市当代舞踊団の単券

▶(Noism含む) 2演目以上のセット券

10月13日[金] 【N-PAC mate 会員先行】

▶Noism1の単券

10月15日[日] 【一般発売】

▶Noism1の単券



会場 りゅうとぴあ 新潟市民芸術文化会館

新潟市中央区一番堀通町3-2

Web <https://artscouncil-niigata.jp/nidf/>

Facebook(NIDF) <https://www.facebook.com/niigata.international.dance.festival/>

Twitter(@NIDF_PR) https://twitter.com/nidf_pr

本件についてのお問い合わせ

アーツカウンシル新潟(NIDF2017 実行委員会事務局) 福島・北沢
〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目613番地69 新潟市開発公社会館3F

Tel. 025-234-4530 Fax. 025-234-4521

e-mail. nidf@niigata.email.ne.jp

NIDF2017 実行委員会

[構成団体] 東日本旅客鉄道(株)新潟支社、
(株)新潟日報社、(株)新潟放送、新潟市洋舞踊協会、
(公財)新潟観光コンベンション協会、
新潟市文化・スポーツコミッション、
(公財)新潟市芸術文化振興財団、新潟市

取り扱い

▶りゅうとぴあ(窓口・電話・オンライン)

チケット専用ダイヤル

Tel: 025-224-5521(11:00-19:00 休館日を除く)

オンライン・チケット

<http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

▶e+ イープラス <http://eplus.jp/> (PC・MB)

※セット券はりゅうとぴあ(窓口・電話)のみでの取扱いとなります。

※未就学児はご入場いただけません。

※車いす席はチケット購入時にお申し出ください。りゅうとぴあ(窓口・電話)のみで取扱いとなります。

※開演後の入場については、制限させていただく場合があります。また、開演後は指定のお席にご案内できない場合もあります。

サポートシステムのご案内

▶託児サービス

対象: 6か月以上~小学校2年生まで

託児料: 未就学児1人1,000円

小学1・2年生1人1,500円

※公演日の2週間前までにお申し込みください。なお定員になり次第、締め切らせていただきます。

※公演日前1週間を過ぎるキャンセルは託児料と同額のキャンセル料が発生します。

▶難聴者赤外線補聴システム

あらかじめお申し込みください。

お申し込み先: りゅうとぴあチケット専用ダイヤル

Tel: 025-224-5521